



創立年数	西暦	和暦	市サッカー協会の事業・事柄
0	1983	S58	<ul style="list-style-type: none"> 成田市サッカー協会設立 1種5チーム、4種2チームで始動 *初代理事長に小出征夫氏、会長には水野清氏が就任 *1種 成田国際空港公団（現NAA）、日本航空、成田キッカーズ、AGS(現JGS)、日本空港給油 *4種 成田サッカークラブ（現成田SSS）、成田フットボールクラブ
1	1984	S59	<ul style="list-style-type: none"> 2代目理事長に加藤昭氏が就任 5種 第1回四十雀(現成田ケーブルテレビ杯争奪四十雀)大会開催 4種 三里塚FCが加入し3チーム編成となる 4種 第1回エアポート杯争奪少年フットサル大会開催
2	1985	S60	<ul style="list-style-type: none"> 3代目理事長として伊藤博宣氏(現会長)が就任 日伯親善サロンフットボール大会開催(成田選抜vsサンパウロ・ピラチニンガ) 4種 第8回全国少年総合ミニサッカー大会を成田で開催 技術 第38回千葉県民体育大会に成田市選抜が初参戦 1種 第1回社会人サロンフットボール(現フットサル)大会開催
3	1986	S61	<ul style="list-style-type: none"> 1種 社会人リーグ2部制を導入(1部:6、2部:5チーム)、 1種 第1回成田市選手権大会を開催 4種 第9回全国少年総合ミニサッカー大会を成田で開催 日豪国際親善ミニサッカー大会(成田大会)開催
4	1987	S62	<ul style="list-style-type: none"> 1種 第1回成田市オープンリーグ(現エスエス杯)開催
5	1988	S63	<ul style="list-style-type: none"> 1種 社会人リーグ12チームとなる。
6	1989	H元	<ul style="list-style-type: none"> MILK Cup(千葉県郡市対抗サッカー運動会)決勝大会を成田開催で協力実施
7	1990	H2	<ul style="list-style-type: none"> 第1回成田全日空ホテルサッカー教室開催(講師:釜本邦茂) 4種 第1回成田市低学年サッカー大会を開催
8	1991	H3	<ul style="list-style-type: none"> 第2回成田全日空ホテルサッカー教室開催(講師:釜本邦茂) 技術 県民体育大会で初のベスト8進出なる。
9	1992	H4	<ul style="list-style-type: none"> 成田市江弁須サンプラザショッピングセンター内に待望の事務所開設 3種 第1回成田市フレンドリーカップ開催(近隣地域交流中学生サッカー大会)
10	1993	H5	<ul style="list-style-type: none"> 協会創立10周年 1種 社会人チーム数30を超える(34チーム登録) 初のサテライトJリーグゲームを陸上競技場にて開催 運営に協力
11	1994	H6	<ul style="list-style-type: none"> 技術 東部5市体育大会で優勝 技術 県民体育大会で男子が2度目のベスト8進出 5種 四十雀リーグ発足(不定期戦形式) 日豪国際親善ミニサッカー交流試合を開催
12	1995	H7	<ul style="list-style-type: none"> 5種 四十雀リーグ正式登録にて定期戦のリーグ形式なる(成田SC、三里塚FC、栄SC、成田FC、酒々井FC、日吉台SC、成田キッカーズ) 1種 第1回成田市チャンピオンシップ開催、初代優勝はSSFC
13	1996	H8	<ul style="list-style-type: none"> 1種 社会人チーム数50を突破(52チーム登録)
14	1997	H9	<ul style="list-style-type: none"> 1種 社会人チーム数51チーム登録 5部リーグ制となる 5種 壮年チームとして成田選抜チームが県民大会出場
15	1998	H10	<ul style="list-style-type: none"> 2002W杯キャンプ地誘致に向け活動開始 国際親善シンガポール遠征 成田市選抜vsシンガポールFC NIPPON 伊藤理事長が会長に就任、理事長に1種から成田氏が就任
16	1999	H11	<ul style="list-style-type: none"> 第1回国際親善試合のため韓国仁川市に遠征
17	2000	H12	<ul style="list-style-type: none"> 第2回国際親善大会開催を成田で開催(韓国仁川市チーム来日) 5種 女子部門を設立
18	2001	H13	<ul style="list-style-type: none"> 技術 郡市選抜大会(5年生)にて成田選抜チーム優勝 米国サンブルーノ市に成田社会人チームが訪れ親善の任を負う 5種 五十雀(45歳以上)リーグ発足

成田市サッカー協会の沿革 2/3

19	2002	H14	<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシアU-20、ドイツU-15、ペルーU-18各代表チームのキャンプ協力 ・2002W杯鹿島会場ベニューを中台陸上競技場にて行う ・第3回国際親善サッカー大会で韓国仁川市に遠征(少年、青年、壮年)
20	2003	H15	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回韓国国際交流サッカー大会を成田で開催(日韓W杯記念事業) 仁川選手団(少年・青年・壮年)が来日 ・協会20周年
21	2004	H16	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回日韓国際交流サッカー大会にて韓国仁川市に遠征 ・技術 県民体育大会で男子ベスト8進出、女子も3位入賞
22	2005	H17	<ul style="list-style-type: none"> ・技術 少年トレセン大会(6年生)にてベスト4進出 ・第6回日韓国際交流サッカー大会を成田で開催 ・成田理事長が退き、4種から早乙女清和氏が理事長に就任
23	2006	H18	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島スタジアムにてJリーグサッカー観戦&少年ミニサッカー実施。 ・第7回日韓国際交流サッカー大会で韓国仁川へ遠征。 ・協会副会長の松崎氏が日本協会審判委員長に就任。
24	2007	H19	<ul style="list-style-type: none"> ・3種 総合体育大会で中台中が印旛郡地区優勝なる ・5・4種 第1回ロータリークラブ杯サッカー大会新設。 ・6種 フットサルリーグ設立し始動 ・技術 東部五市大会優勝 ・第8回日韓交流サッカー大会(成田開催)を実施
25	2008	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改変し事務局を設立 ・第9回(予定)日韓交流事業は教科書問題で中止 ・技術 Jrユース世代育成を目的に女子委員会を設立、女子成田トレセンが始動 ・技術 中台球技場人工芝化こけら落として成田女子フェスティバルを開催
25	2008	H20	<ul style="list-style-type: none"> ・技術 郡市トレセンで6年生が県3位の大健闘 ・技術 東部五市大会で連覇 ・技術 県民体育大会で男子ベスト8、女子3位と健闘 ・技術 指導員育成を目的にD級指導員講習会を県協会と協力し開催。 ・3種 総合体育大会で富里北中が印旛郡地区優勝なる ・4種 クワトロサッカー大会を全国に先駆けて開催(協会25周年事業) ・創立25周年記念として協会ロゴを公募し制定 ・創立25周年記念ウィンドブレーカを作成し配布 ・中台球技場が人工芝化する。
26	2009	H21	<ul style="list-style-type: none"> ・技術 東部五市大会で3連覇 ・4種 秋季少年サッカー大会はインフルエンザで中止 ・第9回日韓国際交流サッカー大会で韓国仁川市に遠征 ・女子Jrユースが県協会のリーグ戦に参戦 ・第1回NFAフットサル大会を開催
27	2010	H22	<ul style="list-style-type: none"> ・技術 東部五市大会で4連覇 ・5種 3.11東日本大震災の影響でRクラブ杯、ヤワタカップを延期 ・第10回日韓親善サッカー大会(成田開催)、10周年記念大会として少年参加が復活 ・2.3種 中学校と高校との交流を目的にトワイライトカップを中台人工芝Gで夕刻開 ・3種 千葉県新人体育大会・県大会で西中が3位に入賞
28	2011	H23	<ul style="list-style-type: none"> ・技術 東日本大震災により東部五市大会が中止 ・第11回日韓国際交流サッカー大会で仁川市に遠征(少年5年生参加) ・技術 県民体育大会で男子ベスト8進出、女子も3位に入賞 ・3種 千葉県中学校総合体育大会・県大会で西中が準優勝
29	2012	H24	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓国際交流サッカー大会(成田開催)は韓国台風被害のため中止 ・技術 東部五市大会で5連覇 ・中台球技場(人工芝)に念願の照明灯が設置される
30	2013	H25	<ul style="list-style-type: none"> ・協会30周年、記念パーティ開催および記念誌を発行 ・5種 シニアリーグ(55歳以上)を発足 ・女子U12ガールズ8で関東大会リーグ優勝なる。 ・技術 東部五市大会で6連覇なる。 ・北羽鳥グラウンド 天然芝になる。

成田市サッカー協会の沿革 3/3

31	2014	H26	<ul style="list-style-type: none"> 成田市制60周年記念日韓国国際交流サッカー大会 成田で開催 技術 東部五市大会で7連覇なる。 成田ケーブルテレビ杯中台陸上競技場・球技場開催となり、男女別々の開催となる。
32	2015	H27	<ul style="list-style-type: none"> 伊藤名誉会長、早乙女会長、内野理事長となり新体制でサッカー協会の新たなスタートとなる。 技術 東部五市大会準優勝、8連覇ならず。県民大会1回戦敗退。来季から成田選抜監督に宇野氏、徳永氏で体制の立て直しを図る。 第14回日韓国国際交流サッカー大会で仁川市に遠征 女子部が独立し、山田裕美子氏を理事とする。
33	2016	H28	<ul style="list-style-type: none"> 技術 県民体育大会で男子ベスト8進出 第15回日韓国国際交流サッカー大会で成田で開催 壮年・青年とも勝利
34	2017	H29	<ul style="list-style-type: none"> 技術 県民体育大会で男子第3位 協会史上初 第16回日韓国国際交流サッカー大会で仁川で開催 3種 千葉県中学校新人体育大会 公津の杜中 第3位 第11回民団中央団長杯フットサル全国大会 会場：三重県桑名市 成田選抜6年優勝
35	2018	H30	<ul style="list-style-type: none"> 20周年記念第17回日韓国国際交流サッカー大会で成田で開催 ①壮年②青年③女子④U-12⑤U-15⑥シニア 選手総勢240名参加 女子、県民大会6大会ぶり第3位となる。 第1回桜International ソサイチ メルクユールホテル成田カップ開催(仁川、台湾・桃園参加) 第1回成田市・桃園市親善サッカー総勢37名で交流事業スタート
36	2019	R1	<ul style="list-style-type: none"> 会長：宇野雅人 副会長：青山文彦新体制スタート 東部5市大会、成田で開催5年ぶりに優勝 第18回日韓国国際交流サッカー大会で仁川で開催 県民大会ラクビーW杯の影響により1月開催、男子ベスト8、女子第3位 栄グランド台風の影響により10月～3月まで使用不可になる。 ドリームサッカー成田で開催、40・50雀チームと対戦 新型コロナウイルスの影響により3月活動自粛
37	2020	R2	<ul style="list-style-type: none"> 全日本U-12サッカー選手権千葉県大会 七栄FC 第3位の快挙、功労賞で表彰される 新型コロナにより緊急事態宣言 2度の発令により活動自粛 東部5市大会、県民大会共に中止 桜International大会、日韓国国際交流大会中止
38	2021	R3	<ul style="list-style-type: none"> 法人化して「一般社団法人成田市サッカー協会」として新たなスタート 新型コロナにより活動自粛 東部5市大会中止、県民大会男子は1回戦だけで中止、女子は中止 桜International大会、日韓国国際交流大会中止 成田北高校男子サッカー部 全国高校サッカー選手権大会ベスト16へ 成田女子リーグ戦6チームでスタート ブラインドサッカー成田開催、補助員として初協力
39	2022	R4	<ul style="list-style-type: none"> 第40回千葉県U-10都市選抜少年サッカー大会 成田選抜第3位 東部5市大会準優勝、県民大会男子2回戦、女子1回戦敗退 第3回桜International大会開催される。6チーム参加(仁川、南米、タイ、ちゃんちゅう、成田シニア、成田ミセス) 日韓国国際交流大会中止 ブラインドサッカー3日間補助員として協力実施